

環境学委員会・地球惑星科学委員会
FE・WCRP 合同分科会 CliC 小委員会
(第 25 期・第 1 回)

議事録

日時：2021 年 10 月 21 日（木）10:00～12:20

場所：Zoom によるオンラインミーティング

参加委員（五十音順・敬称略）：青木輝夫、東久美子、飯島慈裕、伊勢武史、浮田甚郎、榎本浩之、斉藤和之、坂井亜規子、杉浦幸之助、杉山慎、竹内望、西村浩一、庭野匡思、羽角博康、檜山哲哉

欠席：阿部彩子、深町康

●定足数確認

委員 17 名のうち、15 名の出席で定足数が満たされていることが報告された。

議題：

本会の議題について、配布資料に基づいて、杉山委員（選出後は委員長）から説明があり、議論がなされた。

1. 小委員会役員（委員長・幹事）の選出と承認

出席委員の自己紹介の後、第 25 期の委員長として、杉山委員長が着任することで承認された。第 25 期の幹事として、杉山委員長からの推薦により、第 24 期からの継続となる飯島委員、新規に竹内委員が着任することが承認された。

2. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

議事要旨（議事録）の提出について、委員長に一任されることが承認された。

3. 小委員会委員間のメールアドレス共有について

小委員会委員間のメールアドレス共有について、杉山委員長から提案され、承認された。

4. CliC の動向

CliC の最近の動向（SSG の活動、新規事務局および事務局長の紹介、CliC Strategic Plan、ICAR IV への参画、ASSW2022 での会合計画など）について、杉山委員長から資料を基に説明がなされた。また、2021 年 11 月～2022 年 3 月

は杉山委員長が不在となるため、竹内委員に CliC SSG の代行を依頼することが承認された。(資料 1~3 参照)

5. 関係学術組織の動向

6. 日本学術委員会・他小委員会の動向

海外および国内の関連学術組織の動向として、各委員から資料を基に情報提供がなされた。

・斉藤委員から、永久凍土関連の国際的な研究動向として、永久凍土の分布に関する研究活動、永久凍土を含む生態-気候システムの動態、永久凍土と社会基盤、に関する情報が資料を基に報告された。(資料 4 参照)

・坂井委員から、氷河のモデル比較研究 (GlacierMIP1-3)、IACS working group の活動と論文成果、に関する情報が資料を基に報告された。(資料 5 参照)

・庭野委員から、積雪モデル比較実験 (ESM-SnowMIP : CliC から endorses されている)、北極・南極の大気ダウンスケーリング実験 (Polar CORDEX. : CliC activity の一つ)、グリーンランド氷床表面質量収支のモデル比較実験 (GrSMBMIP)、に関する情報が資料を基に報告された。(資料 6 参照)

・青木委員から、IASC CWG の活動について資料を基に報告がなされた。(資料 7 参照) 関連して、IASC の WG 等の動向について、檜山委員 (TWG)、飯島委員 (ISIRA) から報告がなされた。

・榎本委員から、IPCC AR6、AC 関連の活動 (CliC on AMAP report、北極気候変化のアップデート 2021 (日本語版作成)、ICARP III final report、ICAR IV)、ASM3、IPY2032-33、学術会議関連、の動向について、資料を基に報告がなされた。(資料 8 参照)

7. 今後の CliC 小委員会の活動

今後の小委員会の活動について確認、検討を行った

8. その他

特になし

以上